

システム稼働状況について

2023（令和5）年3月3日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

NACCS稼働状況

NACCS稼働状況【2022年1月～12月】

1. トラフィック件数

(単位：件)

	航空		海上		合計	
	件数	(対前年比)	件数	(対前年比)	件数	(対前年比)
輸出関係業務	172,309,964	(107.8%)	49,207,905	(97.7%)	221,517,869	(105.4%)
輸入関係業務	343,246,375	(111.4%)	97,951,743	(111.8%)	441,198,118	(111.5%)
監視・輸出入共通関係業務	17,895,387	(106.2%)	80,629,906	(106.8%)	98,525,293	(106.7%)
小計	533,451,726	(110.0%)	227,789,554	(106.7%)	761,241,280	(109.0%)
関係省庁業務 (輸入食品監視支援・動物検疫・植物検疫業務など)					71,275,718	(102.2%)
その他 (「端末開通確認(TCC)」業務など)					33,727,905	(121.0%)
総計					866,244,903	(108.8%)

2. 稼働状況

(1) システム関係

稼働率：99.99%

(2) 回線関係

回線関係：100%

NACCSトラフィックの増加とその対応について

○概要

昨今の貨物量の増加に伴うNACCSへのトラフィック増加（集中）の影響により、一部業務の多数件処理（※）において処理時間の増大が発生しています。例えば、貨物搬入確認登録後の輸入申告の自動起動に1時間以上要する場合があります、輸入貨物の保税蔵置場からの搬出手続きができないなど、実態物流にも影響を及ぼす状況となっています。

（※）多数件処理には、他の業務や特定の時刻を契機としてNACCSにおいて自動的に起動する業務と情報量が膨大な申請をNACCSで効率的に処理するために細分化して起動する業務の2種類があります。

（参考1）遅延が生じている主な業務

- ・ IDC（輸入申告）（予備申告の場合）
- ・ MIC（輸入マニフェスト通関申告）（予備申告の場合）

（参考2）輸出入申告（マニフェスト通関含）トラフィックの推移



NACCSトラフィックの増加とその対応について

○対応

弊社においても、トラフィック集中により遅延が発生する頻度が高くなっている状況は重大な問題であると認識しており、業務処理の遅延事象解消のため、多数件処理に使用するサーバーリソースの追加等の対応を2023年5月に実施する予定でしたが、貨物量の増加とそれに伴うNACCSトラフィック増加によるNACCSの処理遅延に対応するため、前倒し可能なものは可能な限り前倒し、以下の対応を実施いたします。

(1) 輸出申告に関する対策（2022年11月実施済）

輸出申告における処理遅延に対応するため、サーバーの設定をチューニングする改善を実施しました。これにより、搬入時自動起動の輸出申告の処理遅延に改善が見られています。

(2) 輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告に関する対策

① 2023年1月実施済

輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告における処理遅延に対応するため、サーバーの設定をチューニングする改善を実施しました。これにより、大量のトラフィックを発生させていないお客様の遅延状況に改善が見られています。

② 2023年3月19日（日）実施予定

サーバーリソースの追加と更なる設定のチューニングを検討しています。これによって、輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告に加え、それ以外で多数件処理が遅延しがちなものについても状況が改善されるものと期待しています。

(3) 全般的対策（2023年5月21日（日）実施予定）

輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告において、担保に関する情報等の資源競合が生じないものを並行処理可能とするプログラム変更及びサーバーリソースの更なる追加を実施する予定です。これによって、輸入申告及び輸入マニフェスト通関申告の遅延状況が更に改善されるものと期待しています。

これらの対応を実施した後も、NACCSの処理状況を注視し、必要に応じ追加対策の実施を検討します。